

第5章 成果と課題

本研究の成果と課題については、次のとおりである。

(成果)

- 学習内容の関連を踏まえたことにより、思考力・判断力・表現力を継続的に育成する際の指導の考え方を明確にすることができた。
- 学習内容の関連を踏まえた「判断基準」の設定及びそれに基づく指導と評価の方法を具体化したことによって、思考力・判断力・表現力を評価する「判断基準」の妥当性を高めることができ、評価を適切に行う際の考え方を示すことができた。
- 評価結果をより効果的に指導に生かす際の考え方を示すことができた。

(課題)

- △ 判断基準Bを超えたと認められる優れた表現を、適切に評価する手立てを図る必要がある。
- △ 「学習内容の関連」及び「判断基準」を用いた、思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価について更に妥当性を追求し、普及を図る必要がある。

おわりに

本研究では、思考力・判断力・表現力を継続的に育成する際の指導と評価の考え方を明確にし、授業において児童生徒に力を付けるためにどのような手立てを講じることが重要なのか、理論の構築及び検証を進めてきた。研究を進める中で、学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の在り方についての一つの提言ができるのではないかとの手ごたえを感じている。各学校で思考力・判断力・表現力の育成に向けた学習指導の工夫・改善のための参考資料として、ぜひ活用していただきたい。

最後に、本研究を進めるに当たり、貴重な実践事例を提供していただいた研究協力員の皆様方、御指導や御助言を頂いた鹿児島大学教育学部の高谷哲也先生に、心からお礼を申し上げたい。

【引用・参考文献】

- 中央教育審議会 『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について(答申)』 平成20年1月
- 中央教育審議会 『児童生徒の学習評価の在り方について(報告)』 平成22年3月
- 文部科学省 『小学校学習指導要領解説 総則・各教科等編』 平成20年8月
- 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 総則・各教科等編』 平成20年9月
- 文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 総則・各教科等編』 平成21年11月～22年6月
- 文部科学省 『小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)』 平成22年5月
- 国立教育政策研究所 『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』
『小学校各教科等』 平成23年3月
『中学校各教科等』 平成23年7月
『高等学校各教科等』 平成24年3月
- 鹿児島県教育委員会 『鹿児島県教育振興基本計画』 平成26年2月
- 鹿児島県総合教育センター 『研究紀要第115号』 平成23年3月
- 鹿児島県総合教育センター 『研究紀要第117号』 平成25年3月